

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年6月6日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA1、A2
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA1、A2の状況

4 確認結果の概要

瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）A1及びA2はテントハウスに高線量の瓦礫類（30mSv/h以下）を保管していたが、一時保管エリアA1については、令和3年にテントハウスを解体して地表面を舗装し、低線量の瓦礫類（0.01mSv/h程度）の保管に転用されている。

一時保管エリアA2についても、低線量の瓦礫類（0.005mSv/h程度）の保管に転用することが予定されており、テントハウス内の高線量の瓦礫類の瓦礫類の撤去が実施された。今回は、一次保管エリアA1及びA2の状況を確認した。（前回確認：[令和4年10月19日](#)）

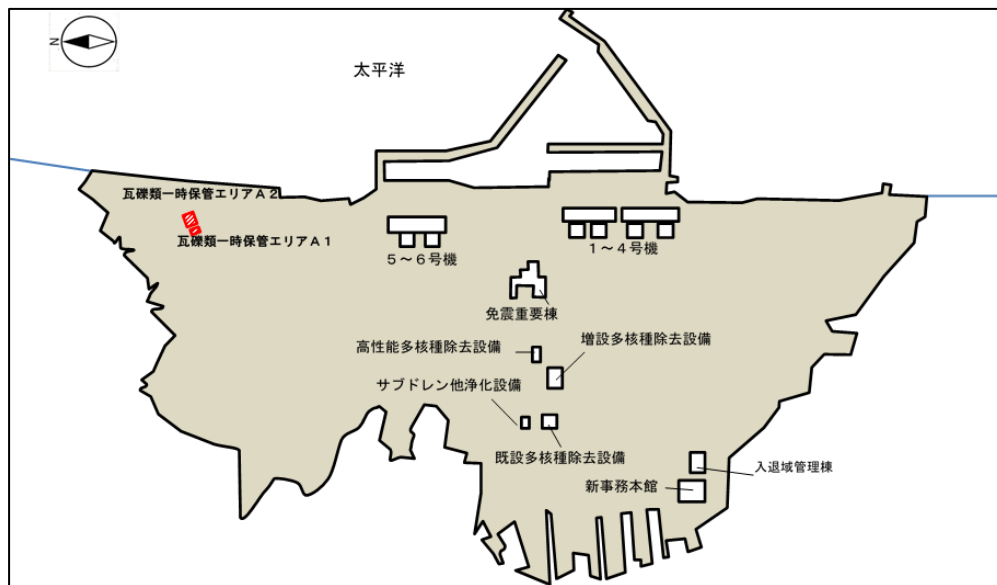
今回は、一時保管エリアA1、A2の状況を確認した。（図1）

（1）一時保管エリアA1の状況

- ・一時保管エリアA1には、周囲を囲む様にコンクリート擁壁が設置されており、1m³コンテナが4段積みで保管されていた。（写真1-1）
- ・エリア内において瓦礫類の漏えいや、コンテナに著しい錆やへこみなどの劣化は見られなかった。（写真1-2）

（2）一時保管エリアA2の状況

- ・一時保管エリアA2テントハウスでは、地面の土壌を除去してコンテナに詰める作業が行われており、テントハウスの入口付近作業ヤードでは、フォークリフトを使った作業が行われていた。（写真2）
- ・テントハウス入口付近作業ヤードでは、残置されていた一部の重機等が撤去されており、作業ヤードとして整備されていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアA1の状況



(写真1-2)
一時保管エリアA1におけるコンテナ保管状況



(写真2)
フォークリフトを使った作業の状況



(写真3-1)
一時保管エリアA2 テントハウス
前作業ヤードの状況
(撮影日：令和4年10月19日)

(写真3-2)
一時保管エリアA2 テントハウス
前作業ヤードの状況
(撮影日：令和5年6月6日)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。